

子どもを水の事故から守るために

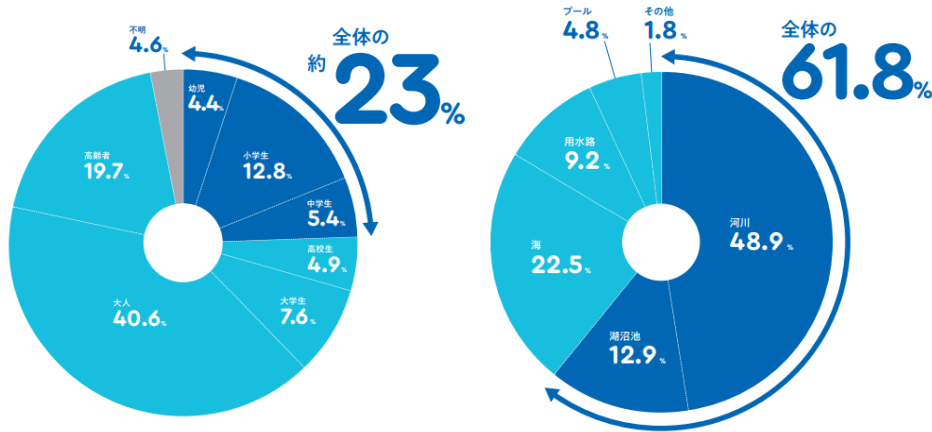
出典「No More 水難事故 2025 川の中や水際などにおける水難事故を防止するための対策
(公益財団法人 河川財団)」

水難事故件数の約半数は夏休みが含まれる7～8月に集中しています。夏休みは家族でバーベキューやキャンプをしたり、釣りに行ったりと河川に近づく機会が増えます。子どもたちが河川に対する正しい知識を身につけ、安全に留意した行動がとれるように家庭でも確認をお願いします。

中学生以下の子どもの水難者

子どもの水難死亡事故

<2003～2024>



中学生以下の子どもの水難者数は全体の1/4

子どもの水難死亡事故の約6割は「河川」と「湖沼池」

行動区分別の水難者数(人)

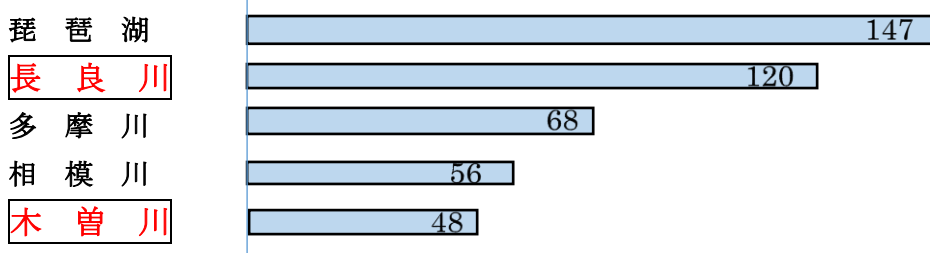
<2003～2024>



川遊びや魚とり、釣りをしているの事故が多い。川の近くを歩いていて足を滑らせての事故など、**水際等の陸域にもリスクがある。**

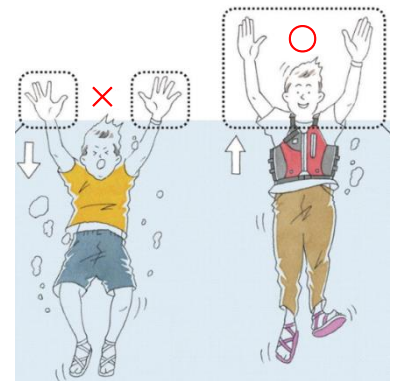
水難事故が多発している主な河川(件)

<2003～2024>



全国的にも**長良川**や**木曽川**の水難事故の件数が多い

ライフジャケットは「川のシートベルト」



ライフジャケットを着用しよう！
⇒頭部が水面から上に出る！